

エスディー・ジーズ トップランナーがSDGsを語る! 持続可能なまちづくりへ 第3回

東松島市商工会
建設業協会 **橋本孝一** 会長



国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取り組みを推進していくために、政府は優れた取組を提案した全国29自治体を「SDGs未来都市」に選定。東北から3自治体、沿岸被災県の宮城・岩手・福島からは唯一、東松島市が選ばれました。

東松島市では、今後、各省庁の支援施策などを活用し、教育、エネルギー、生涯現役、経済循環、市民協働を中心に「持続可能なまちづくり」を目指し、本市の知名度アップにもつなげていく考えです。

ここでは、市を牽引する様々な分野のトップランナーの方々に、「SDGs」に対するの期待感や、持続可能なまちづくりへの思いをインタビュー。第3回目の今回は、地域経済のキーマンである東松島市商工会の橋本孝一会長に「SDGs」を語っていただきました。

■問 SDGs未来都市推進室
☎内線1249

◎商工会長が考える持続可能なまちとは?またそれを実施していくために必要なことを教えてください。

インタビュー

▲震災から7年半が経過しましたが、盛況な企業と、衰退していく企業の2つの傾向が見られるようになってきました。これを商工会としてどうサポートしていけるかが重要になると思います。衰退の原因は何なのか。労働者や後継者が少ないことが原因なのか、はたまた経済的な問題なのか、商工会と行政でしっかりと見極めて、企業にあったサポートをしていきたいですね。さまざまな工夫をもって元気な地元企業を増やし、持続させていくことが、地域の活性化には重要と思います。

◎東松島市SDGs未来都市計画では、子ども、若者、高齢者の人材育成をテーマにしています。高齢者と若者に対するメッセージをお願いします。

▲高齢者の皆さんには、培ってきた経験や知識、ノウハウを活かして、まだまだ地域のために力を貸してほしいと考えています。また最も大切なのは、若い人たちのエネルギーです。若い人たちが活気のないまちは、絶対に伸びないですし、現状維持も難しいです。東松島の若い人たちは機会があれば一所懸命にやる人たちと、私は感じています。まちの活性化と持続には皆さんの力が必要不可欠です。我々も頑張るので、ぜひ力を尽くしてほしいと思います。

◎SDGs推進に向けて、取り組むべきことを教えてください。

▲「人口減少を食い止め、地域社会と経済を軌道に乗せること」が持続可能なまちづくりには欠かせません。そのためにはこのまちから発信できるものを一つでも多く、探すことだと思います。企業誘致だけでなく、もともと市内に拠点を持っている地元企業を多く掘り起こし、それをどう成長させ、持続させていくか。そこを重視すべきと思います。行政だけでなく、商工会や企業、地域が連携して課題解決に向かえば、SDGsの推進にもつながるのではないのでしょうか。

インタビューの全文は、

東松島市 SDGs

検索